

1. 架け橋期のカリキュラムの概要及び作成プロセス

(1) 作成に係る経緯

R3.3 幼児教育施設派遣研修報告

→幼児教育の重要性、幼児教育を小学校で活かすスタートカリキュラム

R4.4 竹田市教育ビジョン R4 策定→【重点】幼保こ小連携、体づくり（幼・低）

R4.4 竹田市「幼保小の円滑な接続」推進事業（幼保小の架け橋プログラム）策定

R4.6 第1回カリキュラム開発会議：役割の確認、研究計画、作業部会1班2班

※委員：推進校校長・園長、大学、幼児教育センター、各園代表、保護者など

R4.9 第2回カリキュラム開発会議：作業部会進捗確認

R4.10 幼小接続地区別合同研修会（豊後大野市と共催）：合同研修会

R4.10 竹田教育研究会1年部会→合同研修会の持ち方について

R4.11 就学予定児についての小学校との連絡会（三者会議）

R5.1 幼保こ小合同研修会（4ブロックで開催）：小学校職員全員、全幼児教育施設

（全小学校職員、全幼児教育施設職員にアンケート実施：めざす子どもの姿）

R5.4 第3回カリキュラム開発会議：竹田市の架け橋期のめざす子どもの姿検討

R5.5 作業部会（南部小 5/16、南部幼 5/17）：カリキュラム案検討

R5.5 小学校1年部会：スタートカリキュラムの検証

R5.6 作業部会（南部幼 6/9）

R5.6.23 推進校公開研究発表会および研究協議（南部小）：カリキュラム案提案

R5.7 作業部会（南部小 7/27）

R5.10 作業部会（南部幼 10/18、南部小 10/26）

R5.11.16 推進園公開保育（南部幼）

(2) 作成プロセス

①カリキュラム開発会議：カリキュラム開発に向けた計画作成、進捗確認

②竹田市教育ビジョンに照らした「めざす子どもの姿」の検討

③作業部会によるカリキュラム検討

④カリキュラム案（推進校プラン、竹田市版）の提案

⑤推進校、推進園の取組公開

⑥幼小接続合同会議：各校代表者による研究協議

⑦幼保こ小合同会議：全員参加による研究協議

⑧個別訪問によるカリキュラム相談（幼稚園、保育園）

※カリキュラムを支える体づくり運動

(3) 架け橋期のカリキュラム

①竹田市版（別添資料）

②南部幼小版（別添資料）

2. 教師の指導・援助および子どもの学びの変化

(1) 教師の指導・援助

① 幼児教育施設における指導・援助

- 活動を展開するのにふさわしい環境の構成
- ◇子どもの興味・関心を引き出す導入の工夫
- ◇見通しをもったり、振り返ったりできるように場を設ける
- ◇見守る、一種に活動する、共感するなど場に応じた言葉かけや援助を行う

② 小学校における指導・援助

- 安心して学べる環境構成→・見通しをもってできる・視覚的に理解できる・協働的に学べる
- ◇「スタートカリキュラム」の時期は安心して学習がスタートできるように、音楽や読み聞かせ等を1時間目を行う
- ◇関わりを広げる支援→ペア・グループ・学級・学校全体へ ◇体験活動を取り入れる
- ◇課題への出合わせ方、児童の意識の流れ、振り返りを大切にした指導計画
- ◇「園ではどうしてた?」「どう思う?」「どうしたらいいと思う?」など経験の想起・思考を促す言葉かけ

(2) 子どもの学びの変化（別添資料）

- 遊びのなかで期待する「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を意識する教諭が増えてきた。
- 小学校 1 年の担任が幼児教育を意識したスタートカリキュラムを実施することで、スムーズな接続が進められてきている。

3. 次年度以降の展望

- 推進校・推進園のカリキュラム作成及び検証が進んでいる。公立幼稚園の作成を今年度中に完了し、来年度検証していく。
- 幼児教育施設の戸別訪問を1月から開始し、カリキュラム作成についての方向性を確認し、R6 作成・検証に向けて勧めていく。
- スタートカリキュラムの全小学校実施・検証
- 校区ごとの幼児教育施設と小学校の合同研修会の主体的実施、年間連携計画の作成
- 市雇用の幼児教育アドバイザーによる園訪問及びカリキュラム作成支援
- 幼児教育主幹課との連携がすすみ、役割分担ができてきている。R7 に向け「スマイルブリッジプロジェクト」を立ち上げ、所管課を超えた取組を構築させていく。課題としては、市費で運営できるよう予算確保していく。

期待する子ども像 竹田市教育ビジョン 主体的に学び未来を創造する子ども
 ◎重点目標: ○情報活用能力 ○協働的な学び

① 市町村の教育ビジョンや子どもの姿から設定した「架け橋期に期待する子ども像」

5歳児 考えをもち表現する子 伝え合い認め合う子 探究心をもち粘り強く取り組む子 小学校1年生

遊びや学びのプロセス 遊びや生活を通して総合的に学ぶ 共通の目的に向かって「楽しみながら」 各教科の内容を系統的に学ぶ

③「架け橋期に期待する子ども像」の育成に向けて、遊びのプロセスをどのように深めていくか

③「架け橋期に期待する子ども像」の育成に向けて、学びのプロセスをどのように深めていくか

園で展開される主な活動／小学校の生活科を中心とした単元構成

五領域<健康・人間関係・環境・言葉・表現>

体を十分に動かして、いろいろな運動や遊びに進んで取り組む（戸外で、友だちと一緒にするなど）

友だちの話を聞き、互いの思いや考えを伝え合いながら、友だちと目的を共有し協働することを楽しむ（考える、伝え合う、工夫する、認め合う、協力する、目通しをもち、折り合いをつける、ルールの共有など）

④ ②のような姿、資質・能力を育むためには、どのような経験や体験が5歳児に必要なか

身近な自然や動植物に興味や関心をもち、関わる（世話をする、遊びに取り入れる、仕組みに気づくなど）

絵本や物語などに親しみ、言葉やイメージを豊かにする

様々な出来事や素材に触れ感じたことや考えたことを表現して楽しむ（歌う、楽器を使う、かく、つくるなど）

固定器具や運動遊具に興味を持ち、体を動かして遊ぶ楽しさを味わう

自分なりに考えたり、気づいたことを友だちと伝え合ったりしながら、試行錯誤して遊ぶことを楽しむ

秋の自然物を遊びに取り入れ、友だちと考えを出し合い、工夫したり、協力したりしながら遊びを進め、実現していく楽しさを味わう

共通の目的に向かって友だちと協力して遊びをすすめる中で、文字や数字に興味をもち、その必要性に気づき、遊びに取り入れて楽しむ

【忍者ごっこ】
☆健康な心と体
☆自立心

【シャボン玉遊び】
☆思考力の芽生え
☆言葉による伝え合い

【秋のお店屋さんごっこ】
☆協同性
☆言葉による伝え合い
☆自然とのかかわり・生命

【お正月のあそび】
☆ゆうびんやさんごっこ
☆手作りかるた・おぼろく

⑤ ④を踏まえ、ねらいに基づいた各園で展開される主な活動（幼小交流活動を含む）

*【】は遊び・活動例

*遊びの中で期待する「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」（到達目標ではない）

【砂・水・泥の感触や違いに気づき、試したり、工夫したりしながら、友だちと一緒に遊ぶを楽しむ】

【砂場あそび】
☆思考力の芽生え ☆協同性

【発表会】
・リズム・オペレッタ
・合奏・チャレンジあそび等
☆豊かな感性と表現
☆協同性
☆自立心

【鬼つくり】
☆協同性
☆思考力の芽生え

【運動会ごっこ】
☆協同性
☆道徳性・規範意識の芽生え

【秋祭りをしよう】
☆自然とのかかわり
☆生命尊重
☆道徳性規範意識の芽生え
☆言葉による伝え合い

【凧を作ってあそぼう】
☆自立心
☆社会生活とのかかわり
☆言葉による伝え合い

【よろしくねの会】
☆協同性
☆言葉による伝え合い

【みんなで七夕飾りを作ろう】
☆自立心
☆協同性
☆言葉による伝え合い

【秋祭りをしよう】
☆自然とのかかわり
☆生命尊重
☆道徳性規範意識の芽生え
☆言葉による伝え合い

【凧を作ってあそぼう】
☆自立心
☆社会生活とのかかわり
☆言葉による伝え合い

【】は遊び・活動例 ☆遊びの中で期待する「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」（到達目標ではない）

各教科等の学びへ

スタートカリキュラム

生活科

安心をつくる時間
・弾力的な時間の運用
⇒生活科を中心とした学習活動
合科的・関連的学習活動
(例:図の中の太字の教科等)
⇒教科等学習活動

⑤各小学校1年生の生活科を中心とした単元構成
(1年生と交流する場合は幼小交流活動を含む)

*【単元名】 ◎主たる内容・(数字)内容
*☆幼児期からつながる「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」
*太字の教科名=合科的・関連的指導を行う教科
*「スタートカリキュラム」を実施する時期

【きれいにさいてね わたしのはな】◎
◎身近な人々、社会および自然にかかわる活動に関する内容
(7)動植物の飼育・栽培 (8)生活や出来事の伝え合い
☆自然とのかかわり生命尊重 ☆思考力の芽生え ☆豊かな感性と表現
算数・国語・図画工作・道徳

【よろしくねの会】
☆協同性
☆言葉による伝え合い

【みんなで七夕飾りを作ろう】
☆自立心
☆協同性
☆言葉による伝え合い

【秋祭りをしよう】
☆自然とのかかわり
☆生命尊重
☆道徳性規範意識の芽生え
☆言葉による伝え合い

【凧を作ってあそぼう】
☆自立心
☆社会生活とのかかわり
☆言葉による伝え合い

【】は単元名 ○数字は時間数 ◎・()は内容 ☆は幼児教育からつながる「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」

指導上の配慮事項

□活動を展開
◇子どもの興味
◇見通しをもち
◇見守る、一歩

□環境構成
◇援助
◇指導

⑥ 各園での指導上の配慮事項

□環境の構成 ◇保育者の援助等
*日頃の実践をもとに考える

⑥ 各小学校での指導上の配慮事項

□環境づくり ◇教師の指導・等
*日頃の実践をもとに考える

時間目に行う
かけ

家庭や地域との連携

⑦ 家庭や地域との連携

○幼児教育と小学校教育のつながりや「架け橋期カリキュラム」について、どのように理解を図るか
○園・小学校で共通して行うこと 等
○市全体で行う「体力づくりプログラム」(たけたん体操)の普及【竹田市共通】

約束

竹田市架け橋期カリキュラム（南部幼小モデルプラン）

R5.6.23現在

期待する子ども像	<p>竹田市教育ビジョン 主体的に学び未来を創造する子ども ~将来の予測が困難な時代において、情報を活用しながら他者と協力し自分の考えを形成していくとともに主体的に学び続ける子どもを育成する~</p> <p>◎重点目標:○情報活用能力 ○協働的な学び ○自分の考えを形成する力 ○主体的に学び続ける意欲</p>
遊びや学びのプロセス	<p>5歳児 考えをもち表現する子 伝え合い認め合う子 探究心をもち粘り強く取り組む子 小学校1年生</p> <p>遊びや生活を通して総合的に学ぶ</p> <p>好きな遊びを見つけ友だちと一緒に遊ぶ</p> <p>友だちの思いや考えを出し合いながら試したり工夫したりしながら遊ぶ</p> <p>共通の目的に向かって、互いの思いや考えを受け入れながら、自分たちで遊びを進めていく楽しさを味わう</p> <p>共通の目的に向かって、工夫し合ったり認め合ったりしながら協同して遊ぶ楽しさや充実感を味わう</p> <p>人に関わる楽しさを感じ安心感をもって学習に取り組もうとする</p> <p>学校生活になれ、自己を発揮しながらめあて意識を持って取り組む</p> <p>主体的に自己を発揮しながら、課題の解決に向けて取り組む</p>
園で展開される主な活動／小学校の生活科を中心とした単元構成	<p>五領域〈健康・人間関係・環境・言葉・表現〉</p> <p>体を十分に動かして、いろいろな運動や遊びに進んで取り組む（戸外で、友だちと一緒にするなど）</p> <p>友だちの話を聞き、互いの思いや考えを伝え合いながら、友だちと目的を共有し協同することを楽しむ（考える、伝え合う、工夫する、認め合う、協力する、見通しをもつ、折り合いをつける、ルールの共有など）</p> <p>数量や図形、文字などに親しみ、遊びや生活の中で使う楽しさを感じる</p> <p>身近な自然や動植物に興味や関心をもち、関わる（世話をする、遊びに取り入れる、仕組みに気づくなど）</p> <p>絵本や物語などに親しみ、言葉やイメージを豊かにする</p> <p>様々な出来事や素材に触れ感じたことや考えたことを表現して楽しむ（歌う、楽器を使う、かく、つくるなど）</p> <p>生活科</p> <p>【わくわくがいっぱいきょうから1年生】④</p> <p>【わくわくどきどききょうがっこう】⑥</p> <p>◎学校・家庭及び地域の生活に関する内容</p> <p>(1)学校と生活 (8)生活や出来事の伝え合い</p> <p>☆健康な心と体 ☆社会生活とのかかわり ☆道徳性・規範意識の芽生え ☆言葉による伝え合い</p> <p>【かぞくにここ大きくせん】⑩</p> <p>◎学校・家庭及び地域の生活に関する内容</p> <p>(2)家庭と生活 (8)生活や出来事の伝え合い (9)自分の成長</p> <p>☆自立心 ☆社会生活とのかかわり ☆健康な心と体</p> <p>【もうすぐ2年生】⑭</p> <p>◎自分自身の生活や成長に関する内容</p> <p>(8)生活や出来事の伝え合い (9)自分の成長</p> <p>☆自立心 ☆社会生活とのかかわり ☆言葉による伝え合い</p> <p>【なかよくなるうね小さなどもだち】⑩</p> <p>◎身近な人々、社会および自然にかかわる活動に関する内容</p> <p>(7)動植物の飼育・栽培 (8)生活や出来事の伝え合い</p> <p>☆自然とのかかわり生命尊重 ☆協同性 ☆言葉による伝え合い</p> <p>【きせつとなかよしあき】⑭</p> <p>◎身近な人々、社会および自然にかかわる活動に関する内容</p> <p>(4)公共物や公共施設の利用 (5)季節の変化と生活 (6)自然やものを使った遊び (8)生活や出来事の伝え合い</p> <p>☆自然とのかかわり生命尊重 ☆協同性 ☆社会生活とのかかわり</p> <p>【きせつとなかよしふゆ】⑫</p> <p>◎身近な人々、社会および自然にかかわる活動に関する内容</p> <p>(4)公共物や公共施設の利用 (5)季節の変化と生活 (6)自然やものを使った遊び (8)生活や出来事の伝え合い</p> <p>☆自然とのかかわり生命尊重 ☆協同性 ☆社会生活とのかかわり</p> <p>【きれいにさいてね わたしのはな】⑩</p> <p>◎身近な人々、社会および自然にかかわる活動に関する内容</p> <p>(7)動植物の飼育・栽培 (8)生活や出来事の伝え合い</p> <p>☆自然とのかかわり生命尊重 ☆思考力の芽生え ☆豊かな感性と表現</p> <p>スタートカリキュラム</p> <p>【きせつとなかよしはるなつ】⑫</p> <p>◎身近な人々、社会および自然にかかわる活動に関する内容</p> <p>(4)公共物や公共施設の利用 (5)季節の変化と生活 (6)自然やものを使った遊び (8)生活や出来事の伝え合い (9)自分の成長</p> <p>☆自然とのかかわり生命尊重 ☆思考力の芽生え ☆豊かな感性と表現</p> <p>【よろしくねの会】</p> <p>☆協同性 ☆言葉による伝え合い</p> <p>【みんなで七夕飾りを作ろう】</p> <p>☆自立心 ☆協同性 ☆言葉による伝え合い</p> <p>【秋祭りをしよう】</p> <p>☆自然とのかかわり生命尊重 ☆道徳性・規範意識の芽生え ☆言葉による伝え合い</p> <p>【凧を作ってあそぼう】</p> <p>☆自立心 ☆社会生活とのかかわり ☆言葉による伝え合い</p> <p>【よろしくねの会】</p> <p>☆協同性 ☆言葉による伝え合い</p> <p>【みんなで七夕飾りを作ろう】</p> <p>☆自立心 ☆協同性 ☆言葉による伝え合い</p> <p>【秋祭りをしよう】</p> <p>☆自然とのかかわり生命尊重 ☆道徳性・規範意識の芽生え ☆言葉による伝え合い</p> <p>【凧を作ってあそぼう】</p> <p>☆自立心 ☆社会生活とのかかわり ☆言葉による伝え合い</p> <p>【 】は遊び・活動例 ☆遊びの中で期待する「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」（到達目標ではない）</p> <p>【 】は単元名 ○数字は時間数 ◎・()は内容 ☆は幼児教育からつながる「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」</p>
指導上の配慮事項	<p>□活動を展開するのにふさわしい環境の構成（道具・用具・素材の種類、数量、配置等）</p> <p>◇子どもの興味・関心を引き出す導入の工夫</p> <p>◇見通しをもったり、振り返りたりできるように場を設ける</p> <p>◇見守る、一種に活動する、共感するなど場に応じた言葉かけや援助を行う</p> <p>□環境構成</p> <p>◇援助</p> <p>◇指導</p> <p>□安心して学べる環境構成→見通しをもってできる・視覚的に理解できる・協働的に学べる</p> <p>◇「スタートカリキュラム」の時期は安心して学習がスタートできるように、音楽や読み聞かせ等を1時間目に行う</p> <p>◇関わりを広げる支援→ペア・グループ・学級・学校全体へ ◇体験活動を取り入れる</p> <p>◇課題への出合わせ方、児童の意識の流れ、振り返りを大切にした指導計画</p> <p>◇「園ではどうしてた?」「どう思う?」「どうしたらいいと思う?」など経験の想起・思考を促す言葉かけ</p>
家庭や地域との連携	<p>幼児教育と小学校教育のつながり、「架け橋期のカリキュラム」等についての理解（保護者会、入園・入学説明会、学校運営協議会、通信など）</p> <p>竹田市こども「せいかつTOP10」（幼児版）の活用</p> <p>「南小っ子 生活の約束」「南小っ子 学習の約束」</p> <p>体力づくりプログラム（「たけたん体操」の普及）</p>

竹田市立南部幼稚園 5月中旬(5月10日~31日)「忍者ごっこ」

【ねらい】固定遊具や運動遊具に興味をもち、体を動かして遊ぶ楽しさを味わう。

【内容】固定遊具など室内外の運動遊具の使い方が分かり、すすんで取り組む。

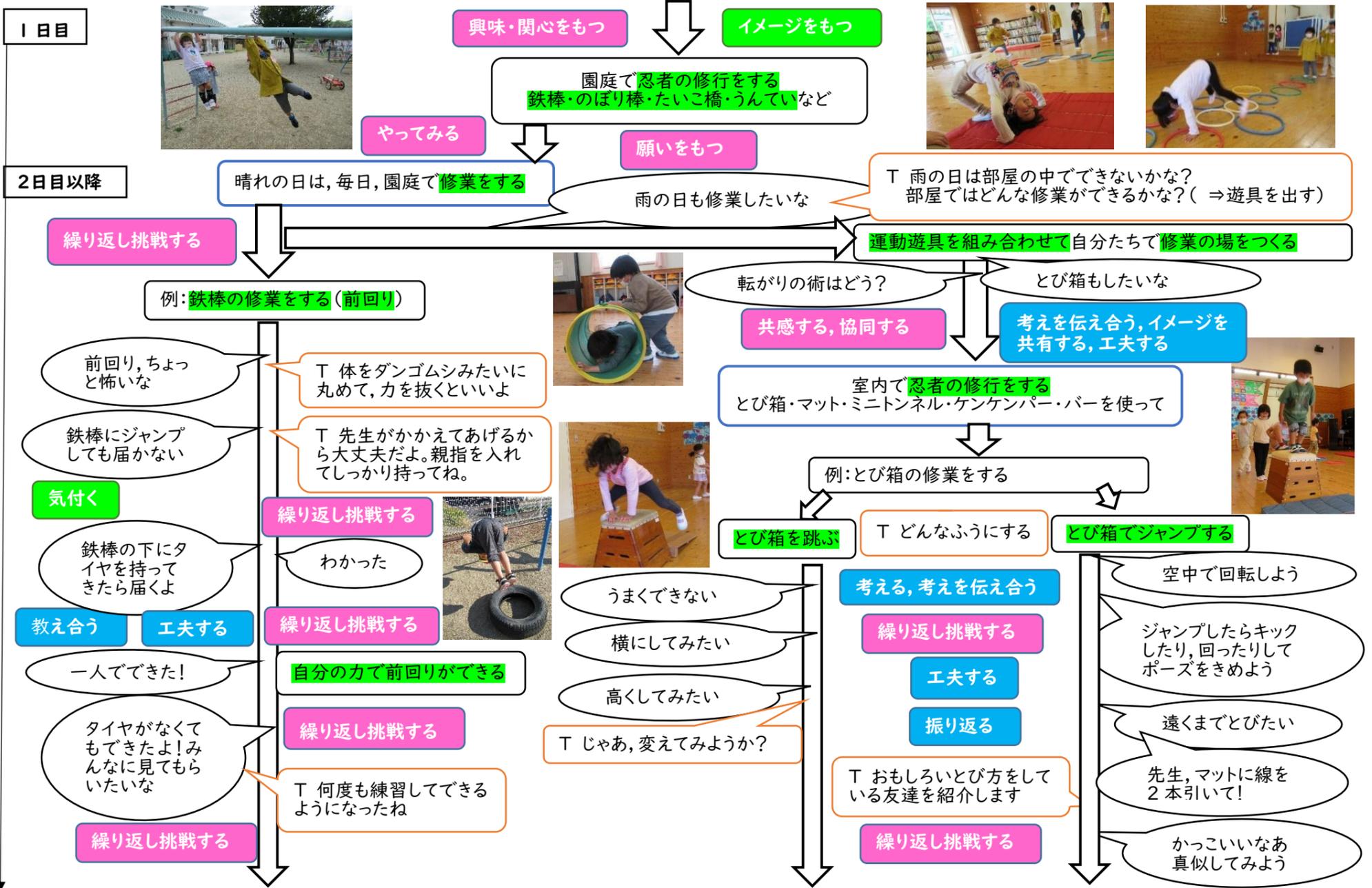
【遊びのプロセス】*遊びの中で育まれている資質・能力を下のように表している

知識・技能の基礎 知識・技能の基礎

思考力・判断力・表現力の基礎

学びに向かう力・人間性等

子どもたちは、園庭の固定遊具の使い方を知り、好きな遊びの時間に固定遊具で遊んでいる。その様子を見て、保育者は忍者体操や忍者が出てくる紙芝居を保育に取り入れた。その中で、「自分たちも忍者になりたい」という子どもの思いが生まれ、「忍者の修業に行こう!」という保育者の呼びかけに、子どもたちもポーズを決め、忍者になりきって移動するなどし、忍者修業への関心・意欲を高めている。



園庭で始まった「忍者ごっこ」は、子どもたちのいつでも遊びたいという気持ちから、室内にも場を広げていった。忍者修業の場や修業の仕方などを自分たちで話し合ったり、つくったりしている。子どもたちは自分のやりたい場や技を選んで、進んで挑戦し続けた。

<p>□環境の構成・ ◇援助のポイント</p>	<ul style="list-style-type: none"> □室内での修行に使えるような運動遊具(とび箱・マット・ミニトンネル・ケンケンパー・バーなど)の準備、使いたいときに自分たちで出して挑戦できるような場を設定する。 ◇固定遊具や運動遊具へのチャレンジを忍者ごっこの修行に見立てて、チャレンジしたくなるような導入を工夫する。 ・忍者体操をする ・忍者の絵本や紙芝居を見る ・忍者にちなんだ曲を流すなど ◇チャレンジする遊具や遊び方を自分で選択し、主体的に活動できるように、子どものやってみようとする気持ちを大事にする。 ◇自分の力で取り組もうとする姿を認め、励ましたり、手助けしたりする。また、できるようになったことを共に喜ぶ。 ◇友達の思いや頑張りに気づき認め合ったり、やり方を参考にしたりできるように、毎日の振り返りの場で感想や思いを出し合ったり、子どもができるようになったことや頑張っている姿をみんなに紹介したりする。
-----------------------------	--



【本活動・遊びで着目したい「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」】		
<p>思考力の芽生え</p>	<p>健康な心と体</p> <p>友達と一緒に忍者ごっこをして、固定遊具や運動遊具にチャレンジする中で、自分なりに遊び方を考えたり、友達に刺激を受けたりして、遊具の使い方に注意しながら、体を存分に動かして遊ぶ。</p>	<p>自立心</p> <p>保育者や友達から励まされたり、頑張りを認められたりする中で、できないことにも頑張っって挑戦しようとする気持ちをもっている。何度も繰り返して取り組むことで、できなかったことや難しい技もできるようになり、達成感を味わい、自信をもつことにつながっている。</p>
<p>協同性</p>		

【小学校以降へつながる資質・能力】

<p>《知識・技能の基礎》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・遊具の使い方を知り、安全に気をつけて遊ぶ ・体を使った多様な動きをする 	<p>《思考力・判断力・表現力の基礎》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分たちで試行錯誤や工夫しながら、場をつくったり、遊び方を考えたりする ・どうすればできるようになるか考え、友だちに教える ・友だちの考えに触れ、取り入れる 	<p>《学びに向かう力・人間性等》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・やってみたくて興味・関心をもつ ・難しいことにも、あきらめずに取り組む ・繰り返して挑戦し、できるようになったことで、自信をもつ
---	---	---